

## 経営のヒント 288 ワイン会から学ぶビジネスのヒント

7月11日のセミナーズ通信というメルマガに面白い記事がありましたからご紹介します。

…下記、メルマガ記事より…

日曜、恵比寿のワイン会に行ってきた。

元 JAL の CA だった女友達がソムリエ試験に合格したお祝いパーティー。

彼女は、年間 250 本以上を飲み干すほどの大のワイン好き。

「私はプライベートジェットのアテンドもしていたから…」

かなり教養レベルが高く、超リッチな世界の人たちをおもてなししてきたようだ。

そして、みな一様にワインがお好きだったらしい。

僕もワインは大好き。でも、ただ「美味しい！」とだけ。

ワインに関する知識は全くのゼロ。

「知識があってワインを飲めたら自分の中で感じる価値が深まるだろうな」以前から何となくそう思っていた。彼女のワイン会は、ただワインを飲むだけではなかった。

ワインに無知な 23 名の人たちに、超基本知識から丁寧に教えてくれた。

例えば、原材料と製法。

空中に浮遊している酵母が葡萄に付着して醸造した結果、アルコール(ワイン)と CO2 ができる。

ちなみに、シャンパンを造るには、複数のワインのブレンドに加えて、さらに葡萄と酵母を追加して閉じ込める。15 ヶ月や 30 ヶ月寝かせると、美味しいシャンパンが出来上がる。

シャンパンの泡は、外部から炭酸を注入したのではない。

追加した葡萄と酵母から発生する CO2 が閉じ込められた結果なのだ。

あとは、葡萄と産地について。

フランスの 3 つの地域を学んだ。

- ・シャンパーニュ地方
- ・ブルゴーニュ地方
- ・ボルドー地方

ブルゴーニュ地方で造っているのは、・ピノワール(黒葡萄)・ガメイ(黒葡萄)・シャルドネ(白葡萄)

ボルドー地方で造っているのは、・カベルネソーヴィニオン(黒葡萄)・メルロー(黒葡萄)・カベルネフラン(黒葡萄)・ソーヴィニオンブラン(白葡萄)・シャルドネ(白葡萄)

ブルゴーニュ地方では、単一品種でワインを造るのに対して、

ボルドー地方では、ブレンド(アッサンブラージュ)で造る。

そして、テイスティング。

4 種類のワインをいただいた。

細かなことを教わったのだが、快調にワインを飲んで記憶にない。

きっと、あなたは僕よりワインの知識を持っている。

だから、ここでは…まあ、これくらいにしよう(笑)

初めて参加したワイン会。

とても楽しい 3 時間だった。

そこで感じたことは、3 つ。

**この 3 つが合わさると人生の満足度はグッと高まる。**

きっと、ビジネスでも同じことなんじゃないだろうか。

## 《1》知識

「知らない」ということは、より良い結果や変化を手に入れるきっかけをつかんでいないということ。ワインを知らなかった僕は、ただ何となく「美味しい」という程度の意味や価値しか受け取っていなかった。

しかし、ほんのすこしでもワインを知ることによって、僕にとってワインの捉え方が変わった。

「知る」ということは、僕たちの人生をより豊かにするきっかけをつかむことかもしれない。

## 《2》経験

ただ頭で知識を持っているだけでは、ウンチクは語れるかもしれないが、人生の味が増していくことはない。

ワインの知識を手に入れることで例えば、成城石井でラベルを眺めて今夜の料理と合う1本を探したくなる。

大切な人にプレゼントしたい1本を今までとは違った視点で選びたくなる。

自分の選んだ1本を飲みながら、色味や香り、特徴の意味を堪能する。

新しく手に入れた知識は、実生活やビジネスに使ってみるとより良い結果や変化につながる。

## 《3》仲間

知識や経験を手に入れてもそれを共有する仲間がいなければ、なんとなく孤独で寂しさが残る。

ワインの本を読んだり、インターネットで調べれば、基本的な知識は手に入るだろう。

その知識をベースにしてワインを飲みたくなるだろう。

もしそこに、知識や経験を共にする仲間がいたらどうだろうか。

理屈抜きにして、とても充実した時間を過ごせる。

一人では得られない学びもある。

ビジネスにおいても、知識や経験を追求するフェーズでは、ある程度一人で没頭する時間の確保は必要。

ただ、それにしても・・・

先生や先輩、仲間から指導を受けたり直接的なフィードバックをもらったり、仲間の存在はいつもかけがえのないものだ。

今どき、本やオンライン講座で学べる。

行動力があれば成功や失敗など経験も積める。

でも、一人で学んで実践するより、目の前に先生や仲間がいるほうが、欲しい結果や変化が手に入る可能性は高まる。

何より人生が楽しくなる。

僕たちセミナーズは、お客さまの結果や変化にコミットする。

リアルなセミナーや講座にこだわるのは、そういう理由だ。

## <経営のヒント>

最近の私は、「仕組みと仕掛け」がビジネスで繁盛する成功鍵(KSF)だと感じている！

そこで、「仕組み」と「仕掛け」の違いは何だろうか？

深く考えるようになった。このヒントがあるような気がする。

「仕組み」とは、システムであり、構造である。つまりはビジネスモデル。だから法則性がある知識だ。

では「仕掛け」とは、感性であり、アイデアであるのではないか？これは経験を積む必要がると感じます。

でも最後は人、仲間がいないと共感しないし、盛り上がらないよなあ～。